

自由民主党総裁 菅義偉様
同議員 築和生様

築和生議員の発言に抗議します

2021年5月20日、自民党会合のなかで、築和生元国土交通政務官が、LGBTなど性的少数者を巡り「生物学上、種の保存に背く。生物学の根幹にあらがう」と発言されました。いままでないがしろにされてきた性的少数者への理解増進、人権が認められ、尊重される法案作成の話し合いにおいてです。

これまで、当たり前のように「性別は男か女、異性を愛する以外はない」という価値観が社会の中に組み込まれてきました。そのような中で性的少数者の存在、命は常に危険に晒され、自分自身を責め自ら命を絶つ方もおられます。

いまようやく、この社会構造の在り方を問う議論が貴政党の中でも始まったことと喜んでいました。

キリスト者として「種の保存」に命（人）の価値を置くことは看過できません。個は種を保存するためにあるのではないのです。その人らしく生きて良いのです。存在、命そのものが尊いのです。築議員の発言は、そのような個をないがしろにすることにつながります。全体のために個をないがしろにする生き方を強いることは、有事においていやと言うほど経験し、どれほど多くの方がたが犠牲になられたかわかりません。そのしわ寄せが弱い者に来ます。

今、私たちは、性的少数者を引き下げる発言に対して、否と声を上げなければ、「個人」が大切にされない社会に、ひいては「生産性がある」と国家が認めないと存在が危ぶまれる社会になってしまうのではないかと危惧し、ここに抗議します。

2021年6月14日

日本バプテスト連盟 性差別問題特別委員会